

行政報告

市議会 9月定例会が 8月 26日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。

大雨による被害状況等

8月1日、早朝から昼ごろにかけて強い雨が市内全域で降り、大葛雨量観測所では10時までの1時間で55^ミもの記録的な雨量となり、大葛の長部地区や大谷地区で住家等に被害が発生しました。

被害状況は、住家の床下浸水5棟、非住家の浸水4棟、長部水道組合の水道施設の一部損壊1件、泥繋沢川、長部沢川などの護岸決壊等25カ所、農地・農業用施設の被害11カ所、林道の路肩崩落等6カ所などでしたが、幸い人的被害はありませんでした。

また、8月5日から8日にかけて、前線が東北北部に停滞し、それに向かつて暖かく湿った空気が流れ込んだため、県北部を中心に大雨となりました。この間、市全域で強い雨が断続的に降り続き、アメダス大館観測所での最大72時間降水量が223・5^ミを記録し、4日間で8月の平年値194・4^ミを超える雨量になりました。6日夜には、長木川や下内川の水位が水防団待機水位にまで上昇したことから、同

日21時47分に市災害警戒対策室を設置し、警戒に当たりました。被害状況は、非住家の浸水1棟、市道などの路肩崩落や土砂崩れ等22カ所、農業用施設の被害2カ所、林道の被害10カ所などでした。

更に、8月10日夜から11日未明にかけての台風11号による倒木2カ所、20日夜から21日にかけての雨では住家の床下浸水1棟などの被害がありました。これらの大雨関連の災害復旧事業費は、農地・農林業施設で8900万円、道路・河川等で8500万円の合計1億7400万円ほどと見込んでいます。

本庁舎建設基本構想案へのパブリックコメントの提出状況

本庁舎建設基本構想案を広報おおだて8月号及び市ホームページに掲載し、新庁舎の建設場所、基本方針、規模及び事業費、その他考慮すべき点などについて、8月1日から22日までの間、市民の皆さんから意見を募集しました。今回は、大勢のかたからご意見をいただくため、行政協力員、町内会長、市内経済団体などにも提出を依頼し、

25日までに1043件の意見書が提出され、郵送分等で今後さらに増える見込みです。

また、7月14日に、桂城地区町内会長会連合会から、8月4日には、城南地区町内会長連絡協議会から、現庁舎及びその周辺敷地での庁舎建設を求める要望書が提出されています。



今後、パブリックコメントの集計結果がまとまり次第、皆さんへ報告します。

茨城県常陸大宮市及びLPG協会との防災協定等の締結

去る7月10日、初代大館城代小場氏の縁で交流のあった茨城県常陸大宮市と「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。

協定の内容は、大規模災害が発生した場合の被災者の受け入れ、食糧などの生活必需品・資機材の提供、復旧活動に必要な職員の派遣などについて、相互に応援し、円滑に応急活動を遂行するということです。これにより、遠隔地自治体との防災協定は、東京都渋谷区、兵庫県篠山市に次いで3件目となりました。

また、8月8日には、一般社団法人

秋田県LPGガス協会と「災害時における液化石油ガス及び応急対策用資機材の調達に関する協定」を締結し、今後、大規模災害時の避難所運営に必要なLPGガス及び応急対策用資機材の調達と、情報交換などを行うことにしています。このたびの協定締結で提携先は20団体となり、大規模災害時に市民の安全確保と迅速な復旧活動が行えるよう、今後も、更なる体制整備を図ります。

大館市総合防災訓練の実施

市では、東日本大震災を契機として、平成23年から住民参加型の総合防災訓練を行って、8月24日には長木川河川敷を会場に、総合防災訓練を実施しました。

今回は、市、機能別消防団を含む消防団、警察署、陸上自衛隊、自主防災組織などが参加し、防災関係機関と市民が連携して各種災害に対応する訓練や、昨年の豪雨を教訓とした避難勧告伝達訓練、水防工法訓練、水難救助訓練などのほか、陸上自衛隊による炊き出し訓練も実施しました。

東日本大震災や昨年の豪雨災害などを経験し、防災に対する市民の関心が高まっている中、今後とも防災、減災のためのあらゆる対策を講じ、市民の安全確保に努めます。

